

科目区分	専門教育科目	授業科目名	手話講座				科目コード	25L116	担当者	下瀬 和枝			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	1年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	必修	免許・資格要件				
授業形態	演習	履修条件						教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分					
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連							科目に含めることが必要な事項					

授業の主題	聴覚障害者のコミュニケーション方法を学び、そのコミュニケーション方法の1つである手話を学ぶ事により、将来の仕事に役立つようにする	課題等への対応(フィードバックの方法等)	外部講義の後はレポートを提出、学習成果を確認し助言する。練習問題と小テストを繰り返し実施し、自分の力を振り返る 授業で習った内容を、テキストを使い復習する
授業の方法	パワーポイントを使用。講師の手の動き、表情を見て模倣、各講座で習得した手話で、対話・グループでの会話、また、最終的にろうあ者とコミュニケーション体験をする。	アクティブ・ラーニングの実施方法	特定のテーマについてのディスカッションを通して理解を深める方法を用いる

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	『手話を学ぶ心構え』 実技 講座1「自己紹介をしてみよう」自分と家族	手話、聴覚障害者について自分なりにイメージ	第9回	『日本聴力障害新聞』 実技 講座8「お天気と乗り物の手話を覚えよう」スポーツや乗り物	予習：スポーツ等をジェスチャーで伝える工夫
第2回	『聴覚障害とコミュニケーションの基礎知識』 実技 講座2「挨拶してみよう」名前	聴覚障害の種類、コミュニケーション手段、指文字の予習	第10回	『手話言語条例』 実技 講座9「買い物とお金の表現を覚えよう」色	復習：スポーツ等の表現 予習：手話言語条例を調べてくる
第3回	『聴覚障害者について』 実技 講座3「手話が分からなかったとき」会話	復習：自分の名前、家族の表現 予習：手話以外の方法	第11回	『聞こえなくて困ること』 実技 講座10「ろう者の生活を知らう」経験談	復習：お金、色の表現 予習：ろう者の困りごとをイマジ
第4回	『手話の成り立ち』 実技 講座4「数字や時間の表現を覚えよう」	復習：会話の表現 予習：数字の表現	第12回	『防災について』 実技 講座11「災害に関する手話を学ぼう」天気	予習：災害時の聴覚障害者の現状を調べてくる
第5回	『手話サークル』 実技 講座5「趣味のことを話そう」	復習：数字、指文字表現 予習：趣味をジェスチャーで表現	第13回	『ろう運動』 実技 講座12「今まで学んだ手話を活かして話してみよう」	復習：天気、指文字、数字などの表現
第6回	実技 講座6「行きたい場所の表現を覚えよう」講座1～6の復習	復習：数字、指文字、問い 予習：会話内容を考える	第14回	窓口対応の実践 自己紹介 復習	予習：窓口で発生する会話例を出す
第7回	特別講義 「ろうあ者の生活」 長崎県ろうあ協会 (レポート提出)	予習：聴覚障害者の生活をイメージ	第15回	手話でのコミュニケーション体験 (手話、指文字、ジェスチャーでろうあ者と話そう)	復習、予習：習った手話の確認と、スムーズな会話の練習
第8回	『手話通訳』 実技 講座7「病気やけがで困ったとき」	復習：講義を受けてレポート作成 予習：病気等イメージ			事前・事後学修時間(分/授業1回) 45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	聴さんと学ぼう！／一般財団法人全日本ろうあ連盟	受講生へのメッセージ	コミュニケーションの基本はお互いの顔や表情を見て話すこと。特に手話は「視る言葉」です。しっかり相手を見て会話をしましょう。コミュニケーション、通じることの楽しさを体感してください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	初回に補助資料として講師作成の印刷物を配布する		

